

## 聖書を知りたい人のために（1）

### イントロダクション

#### 1. はじめに

##### （1）混沌とした時代

- ①日本は破壊された。第2の戦後。「震災後」という新しい時代に突入した。
- ②民主主義の危機。欧州の危機（ギリシアの債務不履行）、米国の危機。
- ③中東情勢の混乱。イスラエルは国際的にますます孤立しつつある。

##### （2）信頼できるものはあるか。

###### ①情報の洪水

###### ②聖書に関するメッセージの必要性

\*時代の要請

\*「メッセージ・ステーション」の拡大

・「クリスチャンライフ、このうるわしきもの」の4回シリーズ

\*永続性のあるメッセージ

\*基本に立ち返る必要性

\*「聖書研究から日本の霊的覚醒（目覚め）が」

##### （3）9つの質問を取り上げる。

- ①聖書とは何か。
- ②聖書はいつ、どのようにして今のような形になったのか。
- ③聖書観には、どのようなものがあるか。
- ④聖書は「靈感を受けて書かれている」とは、どういう意味か。
- ⑤聖書に多くの翻訳があるのは、どうしてなのか。
- ⑥聖書はどこから読んだらいいのか。
- ⑦聖書が神のことばであるという証拠は何か。
- ⑧聖書に誤りは含まれていないのか。
- ⑨聖書は自分自身について、どう証言しているか。

#### 2. アウトライン

##### （1）聖書とは何か。

##### （2）聖書はいつ、どのようにして今のような形になったのか。

##### （3）聖書観には、どのようなものがあるか。

このメッセージは、聖書が神のことばであることを学ぶためのものである。

## I. 聖書とは何か。

### 1. 聖書の区分

(1) 旧約聖書 39 卷 （ユダヤ人たちにはこの言葉はない）

- ①律法（トーラー）
- ②歴史書
- ③文学書
- ④預言書

(2) 新約聖書 27 卷

- ①福音書
- ②歴史書
- ③書簡
- ④預言書

(3) ユダヤ人による区分

- ①律法
- ②預言者
- ③諸書

### 2. 聖書を表す用語

(1) 聖書（Bible）

- ①ギリシア語の biblos から出ている。
- ②元の意味は巻物であるが、後になって本をも指すようになった。

(2) 聖書（Scripture）

- ①ギリシア語の graphei（名詞）と grapho（動詞）から出ている。
- ②「書かれたもの」の意。

(3) 神のことば（Word of God）

- ①「書き記された神の啓示」という点に強調がある。

②ギリシア語の logos（ことば）がキーワードである。

## II. 聖書はいつ、どのようにして今のような形になったのか。

### 1. 正典（Canon）問題

(1) 霊感を受けて書かれた書はどれか、どれが聖書に含まれるべきかという問題。

- ①カトリックとプロテスタントの理解は異なる。
- ②カトリックは、外典（アポクリファ）も含める。
- ③七十人訳聖書に外典が含まれていた。

(2) いつの時代でも、正典に疑問を投げかける者はいる。

### 2. 旧約聖書

(1) 新約聖書ほど難しくはなかった。

- ①前4世紀ごろには、今の39巻が正典として認識されるようになっていた。
- ②現存する最古の写本は、前1世紀頃書かれたとされる死海写本である。

(2) イエス・キリストによる認定

- ①マタ5:17

「わたしが来たのは律法や預言者を廃棄するためだと思っはなりません。廃棄するためにはなく、成就するために来たのです」

(3) 外典

- ①紀元250年頃には、ほぼ意見の一致が見られた。
- ②外典の理解に関して、今も若干の論争はある。
- ③通説では、外典は歴史的な文書であるとされる。

### 3. 新約聖書

(1) 初期の信者たちの認識

- ①ペテロはパウロの手紙に権威を認めている。

2 ペテ3:15~16

「また、私たちの主の忍耐は救いであると考えなさい。それは、私たちの愛する兄弟パウロも、その与えられた知恵に従って、あなたがたに書き送ったとおりです。その中で、ほかのすべての手紙でもそうなのですが、このことについて語っ

ています。その手紙の中には理解しにくいところもあります。無知な、心の定まらない人たちは、聖書の他の箇所の場合もそうするのですが、それらの手紙を曲解し、自分自身に滅びを招いています」

②パウロの手紙は回覧されていた。

コロ4：16

「この手紙があなたがたのところで読まれたなら、ラオデキヤ人の教会でも読まれるようにしてください。あなたがたのほうも、ラオデキヤから回って来る手紙を読んでください」

1テサ5：27

「この手紙がすべての兄弟たちに読まれるように、主によって命じます」

### (2) 教会教父たちの認識

①ヒッポリュトス (Hippolytus) (紀元170～235年)

\*22巻を、靈感を受けた書として認識していた。

②論争のあった5巻

\*ヘブル人への手紙

\*ヤコブの手紙

\*ペテロの手紙第二

\*ヨハネの手紙第二

\*ヨハネの手紙第三

### (3) 教会会議による27巻の認定

①ヒッポ会議 (393年)

②カルタゴ会議 (397年)

③認定の規準

\*著者は、使徒か、使徒と関係の深かった人か。

\*教会全体から受け入れられているか。

\*正統的な教理や教えと矛盾しないか。

\*聖霊による靈感を感じさせる霊的、倫理的価値を含んでいるか。

### (4) 以上の背景に、神の導きがある。

①教会会議が決定したのではない。

②信者たちが、正典を認識したのである。

③神の権威を認めない者は、いつの時代にもいる。

### Ⅲ. 聖書観には、どのようなものがあるか。

#### 1. 合理主義（聖書よりも人間の理性を上に置く）

(1) 極端な合理主義者は、神の啓示の可能性を否定する。

- ①無神論
- ②不可知論
- ③理神論

(2) 穏健な合理主義者は、神の啓示の可能性を認めるが、その価値を判断するのは人間の理性であるとする。

- ①近代主義
- ②自由主義神学

#### 2. 神秘主義（経験に最高の価値を置く）

(1) 聖書は神のことばではあるが、それ以外にも霊的真理はある。

##### ①汎神論

- ・有神論のように世界の外にある神と被造的世界との絶対的対立を認めない。
- ・「神即自然」という標語が用いられる。
- ・ニューエイジ運動

##### ②ヨガ

- ・個体魂の神への結合を実現するための実践体系を指す。
- ・最近流行のヨガ体操は、本来のヨガとは異なったものである。

(2) 聖書的神秘主義もある（聖書よりも経験を上に置く）。

①聖霊が聖書を通して私たちに働きかける（啓明）こと。

##### ②ユダ3

「愛する人々。私はあなたがたに、私たちがともに受けている救いについて手紙を書こうとして、あらゆる努力をしていましたが、聖徒にひとたび伝えられた信仰のために戦うよう、あなたがたに勧める手紙を書く必要が生じました」

\*「聖徒たちにひとたび伝えられた信仰」→すでに真理は啓示されている。

\*聖書に何かを付加するために、新たな啓示を求める必要はない。

\*すべての経験は、聖書の教えによって判断されるべきである。

#### 3. ローマカトリック（聖書よりも、教会を上に置く）。

- (1) 聖書は教会の作品である。
- (2) 聖書はあいまいに書かれている。
- (3) 最終的な権威である教会が、聖書の意味を明らかにする。
- (4) 教会の伝統に重きを置く。
  - ①ヘブル語・ギリシア語の本文よりも、ブルガーター訳（ラテン語）を重視する。
    - \*405年にヒエロニムスが完成。
    - \*1546年のトリエント公会議で公認聖書となる。
  - ②使徒ペテロが初代の法王。法王権がカトリック教会の中で継承されてきた。

4. 新正統主義（聖書よりも、「神との出会い」体験を上置く）

- (1) 実存主義哲学の影響を受けている。
- (2) 聖書は神のことば（メシア）を証しするものであるが、過ちを含んでいる。
- (3) 聖書の中から「神のことば」を見つけ出すことが、人間の役割である。
- (4) そのためには、「神との出会い」が必要である。
- (5) どれが「神のことば」であるかについては、意見の一致がない。

5. カルト（聖書よりも、別の聖典を上置く）

- (1) 聖書プラス何か別の聖典が重要とされる。
- (2) 聖書の靈感を認めると同時に、別の聖典の靈感も認める。
  - ①モルモン教（末日聖徒イエス・キリスト教会）
    - \*モルモン経
  - ②クリスチャン・サイエンス
    - \*メリー・ベーカー・エディ（1812～1910）著『科学と健康——付聖書の鍵』

6. 正統主義（聖書的立場）

- (1) 聖書は、誤りなき神のことばである。
- (2) 聖書の原典は、靈感を受けて書かれており、なんの誤りも含まない。
- (3) 聖書は、信仰と生活に関する唯一で最終的な権威である。

## 結論

1. 聖霊により頼む

- (1) ヨハ 16 : 13

「しかし、その方、すなわち真理の御霊が来ると、あなたがたをすべての真理に導き入れます。御霊は自分から語るのではなく、聞くままを話し、また、やがて起ころう

としていることをあなたがたに示すからです」

(2) 未信者の人は、聖書は神のことばかどうかを自問する。

①もしそうなら、聖書を否定することは、神を否定することになる。

②もしそうなら、聖書は、信仰と、実生活と、倫理基準の最終的な権威となる。

③聖書から得られる2つの祝福

\*神とはどういうお方か。

\*その神との正しい関係に入るためには、どうすればよいのか。

④福音の3要素を信じる。

2. 文脈を考えながら読む。

(1) 聖書全体の文脈

(2) 各書の文脈

(3) 前後関係の文脈

3. 他の人々の助けを借りて読む。

(1) エペ4:11~13

「こうして、キリストご自身が、ある人を使徒、ある人を預言者、ある人を伝道者、ある人を牧師また教師として、お立てになったのです。それは、聖徒たちを整えて奉仕の働きをさせ、キリストのからだを建て上げるためであり、ついに、私たちがみな、信仰の一致と神の御子に関する知識の一致とに達し、完全におとなになって、キリストの満ち満ちた身たけにまで達するためです」

(2) 自分一人で読もうとする人は、傲慢である。

(3) 過去の人たち、神学書、注解書、指導者たちから学ぶことが大切。

## 聖書を知りたい人のために（2）

### イントロダクション

#### 1. はじめに

- (1) 情報の洪水によって溺れそうになっている時代
- (2) あるいは、羅針盤なしに航海しているかのような時代  
(例話) キャプテン・ウイルソンの逸話
- (3) サイバー空間に灯台の火を灯したい。
  - ① 「メッセージ・ステーション」の拡大
  - ② 「クリスチャンライフ、このうるわしきもの」の4回シリーズ
  - ③ 「聖書を知りたい人のために」の3回シリーズ
- (4) 「聖書研究から日本の霊的覚醒（目覚め）が」  
(例話) アンケートの内容を紹介

#### 2. 文脈：9つの質問を取り上げる。

- ① 聖書とは何か。
- ② 聖書はいつ、どのようにして今のような形になったのか。
- ③ 聖書観には、どのようなものがあるか。
- ④ 聖書は「靈感を受けて書かれている」とは、どういう意味か。
- ⑤ 聖書に多くの翻訳があるのは、どうしてなのか。
- ⑥ 聖書はどこから読んだらいいのか。
- ⑦ 聖書が神のことばであるという証拠は何か。
- ⑧ 聖書に誤りは含まれていないのか。
- ⑨ 聖書は自分自身について、どう証言しているか。

#### 3. アウトライン

- ④ 聖書は「靈感を受けて書かれている」とは、どういう意味か。
- ⑤ 聖書に多くの翻訳があるのは、どうしてなのか。

このメッセージは、聖書が神のことばであることを学ぶためのものである。

#### IV. 聖書は「靈感を受けて書かれている」とは、どういう意味か。

はじめに：神は私たちに語っておられる。これを啓示という。



(1) 一般啓示

①自然を通した啓示

②歴史を通した啓示

\*特に、イスラエルの歴史を見れば、神の存在が分かる。

③人間の内面（良心）を通した啓示

\*いかなる社会にも、ある種の基本的な法が存在する。

\*これは、良心の産物である。

\*ただし、良心は完璧な基準とはなり得ない。

④一般啓示の限界

\*一般啓示は、救いの道を示していない。

\*一般啓示が示す知識の限界。「知られない神に」（使 17：23）

\*人間には、一般啓示によって示された真理を歪めてしまう性質がある。

(2) 特別啓示

「神は、むかし父祖たちに、預言者たちを通して、多くの部分に分け、また、いろいろな方法で語られました。この終わりの時には、御子によって、私たちに語られました」（ヘブ 1：1～2）

①受肉は、特別啓示の中の特別啓示である。

\*イエスを見た者は、父を見たのである（ヨハ 14：1～9）。

②書かれたことばによる啓示

\*これによって、一般啓示を正しく理解することができる。

\*今日の私たちにとって、これが最も重要な啓示である。

1. 神のことばに誤りはない。靈感があるからである。

(1) 最近、この言葉には否定的印象がある。

①天理教や大本教では、教祖が神のお告げを書き記した文書を「御筆先」という。

②靈感商法

(2) 靈感を示す聖句

「聖書はすべて、神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練とのために有益です。それは、神の人が、すべての良い働きのためにふさわしい十分に整えられた者となるためです」（Ⅱテモ 3：16～17）

①「聖書はすべて」

\*十全・逐語靈感

②「神の靈感による」

\*ギリシア語で「セオプニューストス」

\*神の息が吹き込まれている、という意味

③靈感のゆえに聖書は有益である。

## 2. 靈感の内容

### (1) 二重著者

①神が第一次的な著者

②人が第二次的な著者

(2) 神は、著者の特徴、経験、文学形式などを用いて御心を啓示された。

①聖書の多様性と統一性

## 3. 誤った靈感説

### (1) 機械的（口述筆記的）靈感説

①神は著者の執筆活動を完全に支配し、導いた。

### (2) 概念の靈感説

①概念は靈感を受けているが、すべての言葉が靈感されているわけではない。

②この説は、神の靈感の度合いを引き下げる考え方である。

### (3) 部分的靈感説

①聖書の各部分には、靈感を受けている度合いの差がある。

②人間が最終的な判断を下すことになり、問題が起こる。

## V. 聖書に多くの翻訳があるのは、どうしてなのか。

はじめに：私たちの手に聖書が届くまでの3つの過程

### 1. 靈感

(1) 原典において、聖書は誤りなき神のことばである。

(2) 写本に誤りが無いことを保証するものではない。

### 2. 保存

(1) ユダヤ人によって、ヘブル語聖書は保存された。

- ①ソフェリム
- ②タナイム
- ③マソラ学派（7世紀、11世紀）
- ④厳格なルール
  - \*羊皮紙の種類
  - \*行と列のサイズ
  - \*インクの種類
  - \*単語と単語の間隔
  - \*写し終わると、行、単語数、文字数を数えた。
- ⑤死海写本の発見により、旧約聖書の正確性が証明された。

(2) 新約聖書も同じである。

- ①数千ものギリシア語の写本がある。
- ②最古のものは、紀元117年頃。
- ③複数の読みがある場合でも、原典を推測できる。
- ④他の古典文学の写本にはない特徴である。

### 3. 翻訳

(1) 翻訳とは、ある意味、解釈である。

- ①文字通りの訳か、意味を伝える訳かの選択
- ②コロ3:12

「それゆえ、神に選ばれた者、聖なる、愛されている者として、あなたがたは**深い同情心**、慈愛、謙遜、柔和、寛容を身に着けなさい」（新改訳）

「あなたがたは神に選ばれ、聖なる者とされ、愛されているのですから、**憐れみの心**、慈愛、謙遜、柔和、寛容を身に着けなさい」（新共同訳）

「**bowels of mercies**」（KJV）

\*感情の存在する場所は、腸か、心か。

- ③ルカ2:49

「するとイエスは両親に言われた。『どうしてわたしをお捜しになったのですか。わたしが必ず**自分の父の家**にいることを、ご存じなかったのですか』」（新改訳）

「**My Father's business**」（NKJV）

\*ともに訳としては許容できる。

\*個人的には、「父の仕事」を選びたい。

\*イエスが12歳であったことと関係している。

(2) 翻訳の種類

①直訳的翻訳

- \* 解釈が少ない。
- \* しかし、読みにくい。
- \* 英語では、KJV, NKJV, ASB and NASB。
- \* 日本語では、詳訳聖書刊行会による「詳訳聖書」（新約聖書のみ）。

②より自由な翻訳（動的翻訳）

- \* 解釈が多い。
- \* 読みやすい。
- \* 口語訳、新改訳、新共同訳はすべてこれである。

③意識

- \* リビングバイブル
- \* 初心者に読みやすい。
- \* 聖書研究に不適である。
- \* 厳密には、翻訳ではない。

(3) 神学と翻訳の関係

①翻訳委員会による訳が一般的。

- \* 公平な神学的立場を反映させるため
- \* それでも、神学的立場が反映されることが多い。

②最近の性差別のない翻訳は、誤訳である。

③個人訳は、その個人の神学が反映される。

**結論**

1. 聖書は、神からのラブレターである。

（例話）「I love you forever.」終わったら返してね。

2. 翻訳された聖書は、靈感を受けていない。

- (1) 原典が靈感を受けている。
- (2) 研究の積み重ねによって、翻訳された聖書は信頼に足るものとなっている。
- (3) 聖書研究によって原典の意味を探ることは、私たちの特権であり喜びである。

3. 聖書の靈感を信じることは、確認に満ちた信仰生活の土台である。

## 聖書を知りたい人のために（3）

### イントロダクション

#### 1. はじめに

(1) 2011年は、働きが飛躍的に拡大した年であった。

①「メッセージ・ステーション」 11月のデータ。平均1,200件/日以上。

②春には、第2回「再臨待望聖会」

③連休中には、フルクテンバウムセミナー

④紹介カードを用意した。

(2) 2012年の予定

①1月から、定例会のメッセージを動画配信する。

②ロマ書を終えて、イエスの生涯のシリーズに入る。

③2月から3月にかけて、第3回「再臨待望聖会」。大阪は、3月17日（土）。

④フルクテンバウムセミナーは、「死後の世界」というテーマ。

(3) モットーは、「聖書研究から日本の霊的覚醒（目覚め）が」である。

①そのためには、聖書についての正しい認識を持つことが大切。

②今回は、「聖書を知りたい人のために」の3回目である。

#### 2. 文脈：9つの質問を取り上げる。

①聖書とは何か。

②聖書はいつ、どのようにして今のような形になったのか。

③聖書観には、どのようなものがあるか。

④聖書は「靈感を受けて書かれている」とは、どういう意味か。

⑤聖書に多くの翻訳があるのは、どうしてなのか。

⑥聖書はどこから読んだらいいのか。

⑦聖書が神のことばであるという証拠は何か。

⑧聖書に誤りは含まれていないのか。

⑨聖書は自分自身について、どう証言しているか。

#### 3. アウトライン

⑦聖書が神のことばであるという証拠は何か。

⑧聖書に誤りは含まれていないのか。

⑨聖書は自分自身について、どう証言しているか。

⑩聖書はどこから読んだらいいのか。

このメッセージは、聖書が神のことばであることを学ぶためのものである。

## VII. 聖書が神のことばであるという証拠は何か。

### 1. メシア預言がある。

(1) イエス・キリストの初臨に関する預言は、300以上ある。

①イエスが誕生する前に書かれた預言である。

(2) それらの預言がすべて成就した。

### 2. 不思議な統一性と調和がある。

(1) 1600年にわたって書き続けられた。

(2) 40人以上の人々の手によって書かれた。

(3) さまざまな場所で書かれた。

(4) 3つの異なる言語で書かれた。

①ヘブル語 旧約聖書のほとんど全部

②アラム語 旧約聖書の一部（エズラ記とダニエル書 2:4b ~ 7:28）

③ギリシア語 新約聖書

(5) 論争的となるテーマを無数に扱っている。

(6) これだけの多様性を持ちながら、統一性と調和を保っている本は聖書だけ。

### 3. 人間を美化していない。

(1) ダビデの罪

(2) ペテロの失敗

(3) 彼らもまた罪人であるが、神を信頼した。

### 4. 考古学の発見が聖書と一致している。

## VIII. 聖書に誤りは含まれていないのか。

### 1. 聖書の誤りを指摘する本やウェブサイトがある。

- (1) 実に挑戦的で、聖書のメッセージに興味があるとは思えない。
- (2) この矛盾をどう解決するかと質問する人も、そのようなものから情報を得る。
  - ①自分で矛盾を発見したわけではない。
  - ②聖書は、普通に読めば、調和した本として読める。

## 2. 私たちの立場

- (1) 聖書記者たちは、それぞれの立場で書いているので、矛盾に見える箇所がある。
  - ①そのほとんどに、論理的説明がある。  
(例話) 神学校のアーチャー博士、フルクテンバウム師
  - ②しかし、説明が難しい箇所も確かにある。
  - ③写本と作る過程での人間のミスもあるが、これは極めて少ない。
- (2) 先輩のクリスチャン、牧師、注解書などの助けを得る。
- (3) それでも解決しない場合は、「冷凍庫」に入れておく。

## 3. 靈感について（再度）

### (1) 靈感を示す聖句

「聖書はすべて、神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練とのために有益です。それは、神の人が、すべての良い働きのためにふさわしい十分に整えられた者となるためです」(Ⅱテモ 3: 16~17)

- ①「聖書はすべて」
  - \*十全・逐語靈感
- ②「神の靈感による」
  - \*ギリシア語で「セオブニューストス」
  - \*神の息が吹き込まれている、という意味
- ③靈感のゆえに聖書は有益である。

### (2) 灵感の内容

- ①二重著者
  - \*神が第一次的な著者、人が第二次的な著者
- ②神は、著者の特徴、経験、文学形式などを用いて御心を啓示された。

- (2) 原典のみが靈感を受けている（つまり、間違いがないということ）。

- ①写本制作の段階、翻訳の段階で、靈感を保証する聖句はない。
- ②書記や翻訳者は、人間であるので、過ちを犯す。

(3) 今日私たちが持っている写本郡から、原典の99%以上が確定されているという。

- ①重要な教理が問題になることはない。
- ②保存の過程に神の守りがあったと確信できる。

(4) 今日私たちが所有する翻訳された聖書には、神のことばの権威がある。

#### IX. 聖書は自分自身について、どう証言しているか。

##### 1. 黙 22 : 18~20

「私は、この書の預言のことばを聞くすべての者にあかしする。もし、これにつけ加える者があれば、神はこの書に書いてある災害をその人に加えられる。また、この預言の書のことばを少しでも取り除く者があれば、神は、この書に書いてあるいのちの木と聖なる都から、その人の受ける分を取り除かれる。これらのことをあかしする方がこう言われる。『しかり。わたしはすぐに来る。』アーメン。主イエスよ、来てください」

- (1) これは、黙示録に関する命令である。
- (2) しかし、黙示録は、それまでの預言を時間順に並べ、さらにその先まで預言した書である。
- (3) 黙示録に付加してはならないというのは、聖書が完結しているということである。

##### 2. 今後新しい啓示が加わることはあるか。

- (1) その可能性はない。
- (2) もしそうなら、今私たちに与えられている聖書は、不完全であることになる。
- (3) 私たちは今、創世記と黙示録に挟まれた時代に住んでいる。
- (4) 私たちが知るべきことは、すべて聖書に書かれている。

#### VI. 聖書はどこから読んだらいいのか。

##### 1. 一般的な助言

- (1) 福音書
  - ①聖書は、キリストについて証言している。



(2) マルコの福音書

- ①キリストの行動がよく分かる。

(3) ヨハネの福音書

- ①キリストの教えと、ご人格がよく分かる。

2. 私の助言

(1) 創世記を導き手とともに読む。

(例話) 少年時代の映画館での体験

- ①創世記には、それ以降展開されるすべてのテーマの萌芽がある。

(2) 詩 139 篇

- ①全能の神の存在を認識する。  
②そこから逃げようとするが、偏在の神に出会う。  
③さらに、創造主なるお方に出会う。  
④適用は、神への信頼である。

3. まとめ

- (1) 詩 139 篇  
(2) 創世記  
(3) 福音書

4. 聖書に向かう姿勢が重要

(1) 1 コリ 2 : 13~14

「この賜物について話すには、人の知恵に教えられたことばを用いず、御霊に教えられたことばを用います。その御霊のことばをもって御霊のことを解くのです。生まれながらの人間は、神の御霊に属することを受け入れません。それらは彼には愚かなことだからです。また、それを悟ることができません。なぜなら、御霊のことは御霊によってわきまえるものだからです」

(2) 1 ペテ 2 : 2

「生まれたばかりの乳飲み子のように、純粹な、みことばの乳を慕い求めなさい。それによって成長し、救いを得るためです」